

# 地方創生を推進する5G基地局整備及び自治体光ファイバ網の維持について

【担当省庁】総務省

5Gに対応した基地局整備及び地域の光ファイバ網は地方創生の推進に不可欠であり、都市部、中山間地域に関わりなく早期に整備・適切に維持されるよう、以下の措置を講じていただきたい。

○電波が回り込まずカバーエリアが狭い5Gの特性から、山間部などで5Gの不感地域が生じ、基地局の追加設置が必要な地域や、採算性が低く残された不感地域において、携帯電話事業者が新たに5Gの基地局を設置する際の補助制度の拡充

○市町村が整備した光ファイバ網設備の維持及び更新に要する費用について、市町村負担を軽減するための支援  
(※平成20年頃に整備した光ファイバ通信機器が更新時期となっている)

## 【現状・課題等】

### ■まち・ひと・しごと創生総合戦略（一部抜粋）

「地域においてもICTの恩恵を十分に享受することができるよう、公衆無線LAN、第5世代移動通信システム（5G）を含めた高速モバイル、光ファイバ等超高速ブロードバンド基盤など地域における通信・放送環境の整備を推進する。」

■5G基地局整備は、過去の例から人口が多い都市部から進むと見込まれているが、中山間地域にこそ、大きな期待が寄せられており、早期の整備が必要である。また、既設の光ファイバ網については、過去に国の方針に沿って整備した機器の老朽化が進み、その維持が市町村の大きな課題となっている。

○超高速ブロードバンドの人口(世帯)カバー率	99.99%(H31.3)
○携帯電話による無線通信の人口(世帯)カバー率	99.99%(H31.3)
○府内の携帯電話等不感地域	5市町9地域/地区
	50世帯(H31.3)

(参考) 令和2年度以降に通信機器更新

京丹後市 令和2年度以降に数年間かけて実施予定

与謝野町 令和2年度から令和6年度まで分割して実施予定

京 都 府 の 担 当 課	政策企画部 情報政策課 (075-414-5960)
------------------	----------------------------

【国の事業等】

■概算要求 [総務省]

▶ 5G・光ファイバ等の全国展開支援 132.9 億円(令和元年度予算 126.6 億円)

■平成 30 年度に京都府内で実施された 5G 実証試験の実施概要

実 施 者	NTTドコモ、シャープ、京都府
実施期間	平成 30 年 12 月 13 日(木)～14 日(金)
実施場所	京都市嵯峨嵐山地域
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8Kカムコーダで撮影した渡月橋のライブ映像と、誘客先である嵐山北部エリアの 8K 収録映像の 2 チャンネルの 8K 映像を、5G を用いて桂川対岸まで伝送して 2 画面同時に放映</li> <li>・ 誘導先の観光地に実際に行ってみたいと 97 %の方が回答</li> <li>・ 本試験では、28GHz 帯 5G 基地局及び同 5G 移動局を用いており、人口が密集し配線が困難な観光地においても、5G により容易に 8K 映像を伝送、周遊観光促進に貢献できることを実証</li> <li>・ また、2 台の移動局を使用した 5G 伝送試験では 364.5MHz の帯域幅により基地局当たり 2.5～3.2Gbps の平均伝送速度を達成。800MHz 帯域幅に換算すれば、基地局当たり 5.0～6.4Gbps となり本調査検討の技術目標を達成</li> </ul>

■京都府内の市町村が整備・管理する光ファイバー等の状況(平成 31 年 3 月末)

市町村名	整備時期	提供中の主なサービス	加入者数
京丹後市	平成 19 年度 平成 21-22 年度	民間事業者が市から光ファイバー網を借り受けてケーブルテレビ、インターネット接続サービスを提供	BB 8,424 CATV 10,380
南丹市	平成 18 年度	ケーブルテレビ、インターネット接続	BB 3,220 CATV 11,178
笠置町	平成 21 年度	ケーブルテレビ、インターネット接続	BB 147 CATV 561
南山城村	平成 18-19 年度	ケーブルテレビ、インターネット接続	BB 544 CATV 1,125
京丹波町	平成 15 年度 平成 20-22 年度	ケーブルテレビ、インターネット接続、加入者間無料電話	BB 3,266 CATV 6,561
与謝野町	平成 21-22 年度	ケーブルテレビ、インターネット接続(令和 3 年 4 月末サービス終了予定)	BB 1,643 CATV 5,878